

区勢の あらまし



今里交差点

◎区の中心部は今里交差点付近

主要道路の集まる今里は交通の要衝であり、当区の中心です。ここには、区役所庁舎をはじめ、保健所・消防署・警察署・府税事務所・社会保険事務所など官公庁街を形成するとともに、コミュニティ施設としての東成会館があり、また、各種金融機関等が数多く集まり、区発展の拠点となっています。

◎群を抜く人口密度

当区の面積は4,55km²、全市の2.06%にあたり、24区中の第23位と狭く、平成7年10月1日の推計人口は、78,736人（男=37,725人・女=41,011人、32,759世帯）で、全市の3.09%にあたり、24区中の第17位となっています。従って、1km²当たりの人口密度は17,305人で、24区中の第5位を占め、全国的にもきわめて高い密集状態を示しています。

当区の人口は、戦前の約15万人が終戦直後には約10万人と激減し、年々回復して昭和35年には約14万人近くとなりましたが、その後は減少の傾向にあります。

◎中小企業で東部工業地帯の一翼を形成

平成8年の事業所統計調査によると、当区の事業所数は8,275カ所、従業者数は60,902人、うち卸

売・小売業が3,428カ所、20,612人で、製造業が2,549カ所、21,624人でこれに次いでいます。

工場は総合印刷業・紙製品製造業などの大工場もありますが、多くは中小規模で、金属製品・繊維製品・機械器具製造業、出版印刷関連事業などで、1年間の製品出荷額は約3,773億円に上り、城東・生野区などとともに東部工業地帯を形成しています。

◎便利な交通機関・道路網

区内の交通は、明治28年の城東線の敷設にはじまり、ついで大軌電車の開通、市電の開通、バス・トロリーバス網の発達と進んできましたが、現在では、東西に地下鉄2路線（中央線・千日前線）と区内を走る11路線の市バスが区民の重要な足となっています。

道路網は、東西に築港深江線・大阪枚岡奈良線、南北に森小路大和川線・新庄大和川線・豊里矢田線が井桁状に走り、阪神高速道路東大阪線も通っています。

◎進む浸水・下水対策

当区は古くから一帯に土地が低く、戦後も大雨が降るとしばしば浸水に悩まされましたが、東南部浸水対策として平野川・平野川分水路の改修工事、天王寺～弁天幹線・今里～中道幹線の通水、平野川街路下調節池の完成により、その悩みも大幅に解消されました。現在、深江共同溝の建設工事が進められています。

当区は昭和58年に市内で3番目の下水の水洗化100%を達成しました。

◎区内の公園

区内には現在22カ所の公園があり、その面積は80,568m²となっています。緑地の少ない当区では、より快適な生活環境の整備のためにも、さらに公園の新・増設と施設の改善が望まれます。

◎小学校は11校、中学校は4校

区内の小学校は現在、東小橋・大成・今里・中道・北中道・中本・東中本・神路・深江・片江・宝栄の11校で、中学校は東陽・本庄・玉津・相生の4校があります。

幼稚園は市立が今里・中本・東中本・北中道・東小橋の5園と私立3園、その他各種学校があります。

郷土ひがしなり 略年表



東成郡役所

- 明治元年(1868) 5月 大阪府を置く。大阪府東成郡となる。
- 5月 淀川・神崎川堤防決壊(唐崎切れ)。
- 明治5年(1872) 5月 始めて区長・戸長を置く。
- 8月 学制を發布。
- 明治8年(1875) 4月 大小区制定。東成郡は第5大区となる。
- 明治12年(1879) 2月 郡区町村編成法施行、東成郡役所を四天王寺秋の坊に設ける。
- 明治14年(1881) 1月 東成・住吉両郡合併郡役所を天王寺村に置く。
- 明治15年(1882) 3月 神路小学校の前身、阪東小学校開校。
- 明治18年(1885) 7月 淀川大洪水、当区の被害甚大。
- 明治20年(1887) 10月 中本小学校の前身、東生小学校開校。
- 明治22年(1889) 4月 市町村制施行、当区内は合併村にて発足。
鶴橋村(旧、岡村・木野村・猪飼野村・東小橋村・小橋村)、小路村(旧、片江村・中川村・腹見村・大友村)、南新開荘村(旧東今里村・大今里村・深江村)、中本村(旧、本庄村・中道村・古屋敷地・中浜村・西今里村・森村)
- 明治23年(1890) 6月 城東練兵場開設。
- 11月 東成郡役所を天王寺六万休町に移転す。
- 明治27年(1894) 4月 大阪市章みおつくし制定。
- 明治28年(1895) 5月 城東線(現JR環状線)天王寺～玉造駅間開通。
- 10月 大阪駅まで開通。
- 明治36年(1903) 9月 市電花園橋～築港間に初開通。
- 11月 東成郵便局の前身、玉造郵便局創設。
- 明治42年(1909) 11月 東成税務署の前身、玉造税務署設置。

- 大正元年(1912) 10月 中本・鶴橋両村町制を実施。
- 大正2年(1913) 11月 城東線に鶴橋仮停車場設置。
- 大正3年(1914) 4月 大軌線(現近鉄線)上本町～奈良間開通。同時に鶴橋駅(現在地より東300m)と深江駅(現布施駅)竣工。
- 大正4年(1915) 6月 中道小学校の前身、中本第2尋常小学校開校。
- 大正5年(1916) 1月 南新開荘村を神路村と改称。
- 大正7年(1918) 7月 耕地整理事業着手。(深江・鶴橋・小路の各耕地整理組合…昭和13年8月完了)
- 8月 米騒動起こる。
- 大正8年(1919) 11月 淀川左岸水害予防組合設立。
- 大正11年(1922) 2月 大成小学校の前身、鶴橋第3尋常小学校開校。
- 9月 北中道小学校の前身、中本第4尋常小学校開校。
- 大正12年(1923) 9月 關東大震災発生。
- 10月 電灯事業市営となる。
- 大正14年(1925) 4月 第2次市域拡張により全市13区制となる。
東成郡生野村・鶴橋町・中本町・神路村・小路村・城東村・櫻本村・鯉江町・櫻並町・城北村・古市村・清水村の4町8ヵ村の区域



東成郡図

を大阪市へ編入、「東成区」とする。第1次東成区成立。
鶴橋木野町の旧鶴橋町役場で業務開始。

- 昭和2年(1927) 2月 第1次都市計画道路上六〜今里間竣工。
2月 市バス阿倍野〜平野間に初開通。
3月 市電下味原〜今里間開通。
10月 東成消防署の前身、東消防署中本出張所開設。消防車1台配置。
- 昭和3年(1928) 4月 東成警察署の前身、中本警察署設置。
- 昭和4年(1929) 2月 土地区画整理事業着手。(今里片江・深江・神路の各土地区画整理事業組合…昭和28年7月完了)
- 昭和5年(1930) 3月 市電気局自動車部営業課今里営業所を開設。
7月 東成区役所を現在地に移転す。
- 昭和6年(1931) 2月 東小橋小学校の前身、鶴橋第3尋常小学校東小橋分校開校。
3月 参急急行線上下本町〜宇治山田間全通。
6月 今里小学校の前身、今里尋常小学校開校。
11月 大阪城天守閣竣工。
- 昭和7年(1932) 4月 城東線(現JR環状線)森之宮駅開設。市バス玉造〜今里間開通。
9月 大軌(現近鉄)連絡駅として城東線に鶴橋駅開設。大軌今里駅(前身は片江駅)開設。
10月 当区から「旭区」が分区。第2次東成区成立。
- 昭和8年(1933) 5月 地下鉄梅田〜心斎橋間に初開通。
- 昭和9年(1934) 9月 室戸台風来襲。
- 昭和9年(1934) 今里ロータリー完成。(昭和28年廃止)
- 昭和10年(1935) 3月 大阪市歌制定。
12月 東成消防署開庁。
- 昭和13年(1938) 10月 東中本小学校開校。



摂津東成森ノ宮近傍民家水害之図



淀川左岸水害予防組合



昭和2年消防車配置



今里ロータリー



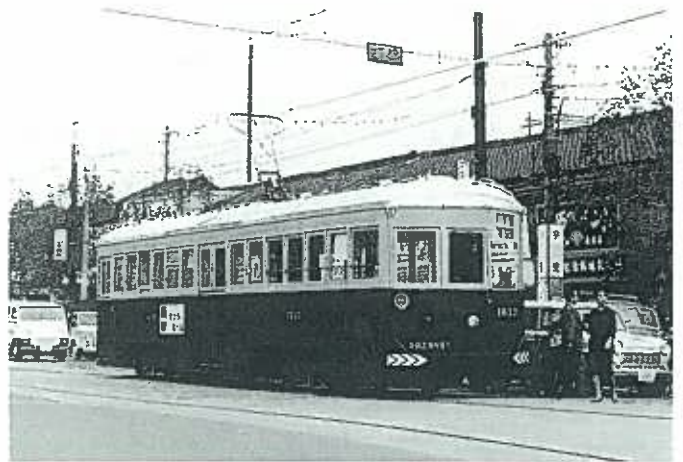
昭和初期の市バス

- 昭和14年(1939) 4月 深江小学校開校。
 昭和15年(1940) 6月 片江小学校開校。
 昭和16年(1941) 1月 玉津会館の前身、東成市民館開館。
 12月 大東亜戦争始まる。
 昭和18年(1943) 4月 大阪市22区制を実施、当区から「城東区」「生野区」が分区。第3次東成区成立。
 5月 中浜小児健康相談所内に東成保健所設置。
 昭和19年(1944) 10月 市電玉造～今里間開通。
 昭和20年(1945) 6月 米機大空襲により当区の被害甚大。
 8月 終戦。
 昭和21年(1946) 大阪市戦災復興土地地区画整理事業着手。(区内では玉造地区)
 昭和22年(1947) 4月 新制中学、第1中学校(現東陽中学校)、第2中学校(現本庄中学校)、第3中学校(現玉津中学校)開校。
 5月 日本国憲法施行。地方自治法施行。
 昭和25年(1950) 6月 東成府税事務所を設置。
 9月 ジエーン台風来襲。
 昭和27年(1952) 4月 宝栄小学校開校。講和条約発効。
 昭和28年(1953) 7月 東成区福祉事務所開設。
 9月 トロリーバス大阪駅前～神崎橋間に初開通。
 昭和30年(1955) 4月 第4中学校(現相生中学校)開校。
 8月 大今里本町1丁目の下水工事現場で独木舟発掘される。



発掘されたミンククジラの化石(朝日新聞社提供)

- 昭和31年(1956) 2月 今里ポンプ場完成。
 昭和32年(1957) 4月 トロリーバス今里～守口間運転開始。森之宮東の町～縁橋間市電運転開始。
 昭和33年(1958) 3月 「町を静かにする運動」始まる。
 昭和34年(1959) 4月 皇太子明仁親王殿下(今上天皇)ご成婚。
 昭和36年(1961) 4月 国鉄大阪環状線開通。
 9月 第2室戸台風来襲。
 昭和37年(1962) 1月 交通事故をなくす運動始まる。
 昭和39年(1964) 4月 町を縁にする運動始まる。
 10月 東京オリンピック開催。
 昭和40年(1965) 10月 市立小児保健センター完成。
 昭和41年(1966) 8月 大今里本町2丁目の地下鉄工事現場で6千年前のミンククジラの骨発掘される。
 昭和43年(1968) 4月 東成保健所新庁舎落成。
 7月 地下鉄中央線森之宮～深江橋間開通。
 7月 郵便番号制実施。東成区は〒537。
 昭和44年(1969) 2月 東成消防署新庁舎落成。
 4月 東成区役所新庁舎落成。大阪市電全廃となる。
 7月 地下鉄千日前線、今里まで開通。(9月)新深江まで開通。
 昭和45年(1970) 3月 日本万国博覧会開幕。
 6月 トロリーバス全廃。
 9月 住居表示実施。現在の町名となる。
 昭和46年(1971) 3月 千筒川埋立工事完成。
 昭和47年(1972) 4月 東母子寮開所。
 9月 台風20号来襲、平野川溢水。
 昭和48年(1973) 3月 菅笠・銅鏡を伊勢神宮に奉納。(深江)
 昭和49年(1974) 7月 分区実施。22区から26区となる。
 8月 東成勤労青少年ホーム開館。



在りし日の大阪市電

- 8月 コミュニティまつり納涼の夕べ
(区民まつり) 開催。
- 12月 阪神高速道路(中央大通) 完成。
- 昭和50年(1975) 7月 沖繩海洋博覧会開幕。
- 8月 区制50年記念のつどい開催。
- 昭和51年(1976) 2月 平野川恒久護岸工事完成。
- 4月 総合区民センター東成会館落成。
旧東成会館は玉津会館に名称変更。
今里休日急病診療所開設。
- 5月 東成区老人福祉センター開設。
- 6月 東成図書館開設。
- 8月 東成区民まつり始まる。
- 11月 中本2丁目で不発爆弾発見、処理。
- 昭和53年(1978) 6月 小児保健センター新館完成。
- 昭和56年(1981) 12月 地下鉄千日前線新深江～南箕間開通。
- 昭和58年(1983) 10月 大阪21世紀計画スタート。
- 昭和59年(1984) 8月 「好きやねん大阪」区民運動推進
大会開催。
- 昭和60年(1985) 3月 科学万博つくば'85開幕。
- 4月 地下鉄中央線深江橋～長田間開通。
- 昭和61年(1986) 10月 地下鉄中央線が生駒まで直通運転。
- 12月 玉津橋の架け替え完成。
- 昭和62年(1987) 9月 老人問題を考えるシンポジウム開
催。
- 昭和63年(1988) 8月 区の花制定。(バラ・パンジー)
- 平成元年(1989) 2月 合区実施、大阪市24区制に。
- 8月 大阪市制100周年記念東成区各種
行催事実施。(元年8月～2年9月)
- 平成2年(1990) 4月 国際花と緑の博覧会開幕。
- 平成8年(1996) 7月 ひがしなりだより創刊。
- 12月 市政情報「みおつくしネット」ス
タート。
- 平成9年(1997) 6月 東成区在宅サービスセンターオー
プン。
- 平成10年(1998) 5月 おとしよりすこやかセンターオー
プン。
- 5月 東成スポーツセンターオープン。
- 5月 東成プールオープン。
- 6月 不発弾処理。(中道1丁目)
- 8月 東成区青少年育成推進会議発足。
- 平成11年(1999) 11月 大阪オリンピック招致東成区推進
協議会発足。
- 12月 不発弾処理。(中本4丁目)
- 平成12年(2000) 3月 大阪市都市計画道路豊里矢田線開
通。
- 3月 東成区高度浄水処理水通水。



地下鉄中央線森ノ宮～深江橋間開通



東成区役所現庁舎



初期の東成区民まつり